

カタカナ表記ガイドライン 取り組みの紹介

2026/8/7

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会

外来語(カタカナ)表記ガイドライン研究会

細田 達幸

テクニカルコミュニケーター協会の紹介

- ・ テクニカルコミュニケーター協会が目指すもの
- ・ テクニカルコミュニケーター協会の沿革
- ・ 表記のルールとして参考にしているもの
- ・ 制作現場におけるカタカナ表記の決め方

テクニカルコミュニケーター協会が目指すもの

一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会は、「使用説明」の品質向上によって誰もが安全かつ簡単に最新の技術を利用することができ、仕事や国民の健康(ウェルネス)の質を高めることができる社会の実現を目指します。そのために TC 技術の発展と普及を促し、その応用範囲の拡大に努めます。また、TC 技術に携わる人々の間で情報共有と情報交換を活発に行い、デザイン、ユーザビリティ設計、システム設計、国際マーケティングなどの関連分野との交流を深めます。これらの目的を達成するために、CD & TC シンポジウムやジャパンマニュアルアワードの開催、さまざまな標準規格の策定、学術研究および産学協同プロジェクトの推進、人材育成などの分野で多面的に活動を展開、発展させていきます。

テクニカルコミュニケーター協会の沿革

- ・ 1989.6: 第 1 回 TC シンポジウム「いま、日本のマニュアルを考える」開催。600 名参加
- ・ 1992.1: テクニカルコミュニケーター協会(TC 協会)設立
- ・ 1997.2: 日本マニュアルコンテストを STC 東京支部と共同開催
- ・ 1998.2: TC 技術検定試験を開始
- ・ 2006.5: 「IEC62079 Part2 取扱説明に関する標準の原案」を IEC/TC3/ ドキュメンテーション分科会国内委員会に提出
- ・ 2008.10: 欧州最大の TC 団体 tekomp が主催する tcworld conference 2008 に参加
- ・ 2009.1: 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会として法人登録
- ・ 2014.5: IEC82079 改訂検討 WG の活動を開始。日本規格協会が事務局の JWG16 国内作業部会に登録
- ・ 2015.3: 学生向け TC 専門課程修了認定証の発行を開始
- ・ 2016.2: ISO/TC37/SC4(言語資源マネジメント)国内委員会に登録
- ・ 2024.1: ISO/TC37 において TC 用語の国際規格 ISO 24183 が制定・発行(168 用語)

表記のルールとして参考になっているもの

- 『公用文作成の考え方(建議)』(令和4年1月 文化審議会)
- 『外来語の表記』(平成3年 内閣告示第2号)
- 各新聞社や NHK の表記ガイドライン
- 各種の用語辞典

制作現場におけるカタカナ表記の決め方

制作現場において、次のような決め方が想定されています。

1. 一般的に定着していると判断できるものは、そのまま採用する
2. 特定の業界で使われるものは、その業界でのガイドラインなどを参照する
3. 上記に当てはまらないものは、外来語(カタカナ)表記ガイドラインを参考に決める

外来語(カタカナ)表記ガイドライン研究会の紹介

- カタカナ表記検討の経緯
- カタカナ表記の揺れがもたらす問題
- カタカナ表記ガイドラインのメリット

カタカナ表記検討の経緯

- 1999.8: TC シンポジウムで問題提起
- 2001.5: カタカナ表記検討 WG 発足
- 2004.12: ガイドライン第1版制定
 - 語尾の長音表記に関する規定
- 2008.3: ガイドライン第2版制定
 - 語尾の長音、アクセントのある二重母音など
- 2015.8: ガイドライン第3版制定
 - 語尾の長音、アイウエオの大小など
- 2025.3～2025.7: カタカナ表記研究会を開催

カタカナ表記の揺れがもたらす問題: 利用者の立場で

- 製品分野、メーカーの違い、カタログやマニュアルと製品本体、などで表記が異なり違和感がある
 - 例: 工具はドライバー、PC のソフトはドライバ、とするのだという誤解
- アクセシビリティに対応した読み上げソフトで(視覚障害者が聞いたときに)同じものと認識できないおそれがある
 - 例: メモリーとメモリ(目盛り)など
 - 極端な例: タイマーとタイマ(大麻)、メーカーとメーカ(銘菓)など

カタカナ表記の揺れがもたらす問題：つくり手の立場で

- クライアントごとに表記が異なり業務効率が悪い(例：マニュアル制作会社において発生)
 - 例：OS とアプリケーションの表記が異なる(コンピュータとコンピューター等)
(同じ製品上で2通りの表記が出てくる)
- 業界によって表記基準がばらついている(例：インキとインク等)
 - 例：同じメーカーでも家電とコンピューター関連の製品で表記が異なる。

カタカナ表記ガイドラインのメリット

＜利用者の立場で＞

- 世の中で日常的に使っている用語(表記)なので、理解しやすい
- 生活や文化の変化に対応できる

＜つくり手の立場で＞

- 表記の揺らぎがなくなり、使用者の裾野が広がり、製品需要の拡大が期待できる
- 複数の表記をチェックする工数が削減できる

外来語(カタカナ)表記ガイドラインの紹介

- 外来語(カタカナ)表記ガイドラインの目指すところ
- ガイドラインと用語集との違い
- カタカナ表記の検討方針
- 『外来語の表記』との関係性
- 対象とする外来語の範囲
- 外来語(カタカナ)表記ガイドラインでの規定

外来語(カタカナ)表記ガイドラインの目指すところ

- 利用者が見聞きするときにわかりやすい表記であること
- 音声(Universal Design)対応にふさわしい表記である(読み上げたときに日本語として聞き取れる、聞き間違いが無い)こと
- 見聞きする人のスキルを限定しない(製品の利用者が技術者だけではないことを考慮する)
- 製品(専門色の強い製品と大多数人が使う製品の)間の垣根がなくなることに対応する
(一般的な知識で複雑かつ高度な機能を使いこなせるように)

ガイドラインと用語集との違い

- 用語集
 - 用語の網羅性に重きを置いている
- ガイドライン
 - 表記の規定方法を示すことに重きを置いている
 - 一覧に挙げている用語は、6つのルールに該当する用語

カタカナ表記の検討方針

利用者はどんな表記に馴染みを感じているか？

- 第1版: 長音の表記に絞った検討(2004年10月発行)
延べ46社に実態調査実施／ユーザビリティ評価実施(ユーザーへのアンケート調査)
- 第2版: 現場でばらつき頻度が高い表記を検討(2008年3月発行)
制作者側、ユーザー側の調査を実施
- 第3版: 第2版で残された課題、第2版以降に現れた課題を検討(2015年9月発行)
会員企業のマニュアルの実例・基準／義務教育で使用されている教科書の実例／内閣告示／各メディアが規定する表記ルール

『外来語の表記』との関係性

- 「馴染みを感じている表記」の根拠のデータの一つとして利用
- 『外来語の表記』が対象としていない部分については、他のデータを参照して検討

対象とする外来語の範囲

- 基本的に英語を対象とする
 - 英語以外は、体系化できるほどの事例数がなかった
- 地名や人名などの固有名詞は対象外とする
 - テクニカルコミュニケーションの現場で、問題が起こることはあまりない

外来語(カタカナ)表記ガイドラインでの規定

1. 長音の表記
2. アイウエオの大小
3. 原語の「V」音
4. 原語が「ti」、「di」および「de」の場合
5. 表記が「ia」で発音が/iə/の場合
6. 語頭が「re」「pre」の場合

(1) 長音の表記

1. 英語の語尾の -er、-or、-ar、*y にあたるものは、原則として長音とし長音符号「ー」を用いて書き表す。
2. 「ai」「a+子音字+e」「o」など、発音記号が"ei"、"ou"などのアクセントのある二重母音になる表記には長音符号「ー」を充てる。
3. 英語の語尾の -re にあたるものは、原則として長音符号「ー」を付けない。
4. 複合語になっても、「長音符号を付ける／付けない」の規定に変化は無い。

(2) アイウエオの大小

1. 「ウイ／ウィ」「ウエ／ウェ」「ウオ／ウォ」は「ウイ」「ウエ」「ウオ」を充てる。
ただし、原語が「-ware」の場合は「ウェア」を充てる。
2. 「クア／クァ」「クイ／クィ」「クエ／クェ」「クオ／クォ」は、「クア」「クイ」「クエ」「クオ」を充てる。
3. 「ファ／ファ」「フィ／フィ」「フェ／フェ」は、「ファ」「フィ」「フェ」を充てる。
4. 「fo」「pho」の表記は「フォ」を充てる。

(3) 原語の「V」音には「バ」「ビ」「ブ」「ベ」「ボ」を充てる。

(4) 原語が「ti」、「di」および「de」の場合の表記

1. 原語表記の「ti」には「チ」を充てる。ただし、原語が「tion」の場合は「ション」を充てる。
2. 原語表記の「di」には「ディ」を充てる。
3. 原語の「de」には「デ」を充てる。

(5) 表記が「ia」で発音が/ɪə/の場合は「(イ)ア」を充てる。

(6) 語頭の「re」「pre」の表記は、「リ」「プリ」を充てる。

- 一般財団法人テクニカルコミュニケーター協会
<https://jtca.org>
- カタカナ表記ガイドライン
https://jtca.org/useful/tc_guide/